

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課長 佐藤 正範 電話番号 0852-22-5722

事務事業の名称	スポーツ・レクリエーション推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを体験することにより、継続的なスポーツ活動への意欲を喚起する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の普及推進を図るため、広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場や体験する場を提供する。 健全者と障がい者が一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ環境づくりを推進するために、地域スポーツ指導者やスポーツ・レクリエーション種目団体などに指導者養成研修やモデル事業を実施する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 島根県スポーツ・レクリエーション祭への参加人数（全体）	目標値		5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 スポレク広場（体験の場）の参加者数及び種目別大会（普及・振興の場）参加者数	実績値	5,434.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名 島根県スポーツ・レクリエーション祭の中のスポレク広場（体験の場）への参加者数	目標値		1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	人
		取組目標値						
	式・定義 スポレク広場（体験の場）への参加者数	実績値	2,194.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	6,353	7,526
うち一般財源 (千円)	3,873	4,426

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・スポレク祭全体の参加者数は微減となっているが、目標値は達成している。
- ・スポレク祭の中のスポレク広場（体験の場）の参加者数も目標値を達成している。（全体の参加者に占める割合は、4割を超えている。）
- ・スポレク祭に参加した障がい者の参加者は減となった。（H25:136人→H26:163人→H27:91人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・県民の誰もが気軽に参加できる場というコンセプトの浸透により、愛好者中心の活動内容から初心者等も楽しめる活動内容への工夫・改善が進められている。
- ・県体育協会、県レクリエーション協会、県障害者スポーツ協会、県障がい福祉課と連携してレクリエーションフェスティバルの企画・運営を行うことで、障がい者が気軽に参加できる方法・内容等改善することができた。
- ・レクリエーションフェスティバルに参加する団体を対象に障がい者の理解・支援について研修を行い、受け入れる側の体制づくりの気運を高めるきっかけとなった。
- ・健全者と障がい者のスポーツレクリエーション活動連携モデル事業を行った団体は、実施したことがきっかけとなって、その後の継続的・発展的な活動につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・スポレク広場や種目別大会の開催が天候に左右される。
- ・スポレク広場や種目別大会の開催数を増やすことができない。
- ・障がい者のスポレク祭等への参加を増やしていきたいが、受け入れる側の体制が不十分である。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・天候等による日程変更は、行事の兼ね合いや施設の確保等ができないため対応できていない。
- ・スポレク祭の運営スタッフを確保することが難しい。
- ・大会開催団体や競技団体等の障がい者の支援に対する意識が低い。

③原因を解消するための「課題」

- ・天候の影響等で中止にならないように雨天時メニューを設定するなどの工夫が必要である。
- ・スポレク祭の必要性を感じる運営スタッフの確保が必要である。
- ・不安なく運営できる障がい者の理解や支援について学ぶ研修の場を提供する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・関係団体や関係機関との連携を一層図りながら、スポレク祭の開催方法・内容等の工夫、運営スタッフの確保について検討していく。
- ・スポーツ推進委員等がスポレク祭の企画・運営に参画することを推奨し、市町村における日常的なスポーツ・レクリエーション活動がより充実していくようにする。
- ・スポーツ推進委員等の地域スポーツ指導者を対象に障がい者の理解・支援について研修を行い、指導者の意識、スキルを高める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）